

ホクレン営農支援情報

(2019年8月号)

● 担い手向け研修会（ICT等新技術）を訓子府で開催 《営農支援推進課》

営農支援センターでは、就農年数の浅い担い手の人材育成を目的に、毎年「担い手向け研修会」を行っています。今年度の第1回目となる「ICT」をテーマとした研修会を、7月10～11日に訓子府実証農場で実施し、25名が参加しました。なお、訓子府実証農場は7月上旬に新しい研修寮が完成したばかり。受講者の皆さんは最初の宿泊者となりました。

研修1日目は、スマート農業の概要やリモートセンシング、自動操舵トラクター、可変施肥などについての講義や、受講者同士の意見交換を行いました。2日目は会場を圃場に移し、自動操舵トラクターの試乗や可変施肥の実演を行ったほか、作物を観察しながら可変施肥につながる小麦の安定生産について学びました。

受講者からは「講義が分かりやすかった」「自動操舵トラクターに試乗して、良さが分かった」などの声や「研修寮がきれいで快適だった」との感想がありました。

今後も、札幌と訓子府でテーマを決めて研修を実施する予定です。ご興味がある方はホクレン各支所営農支援室までお問合せください。



「他の方の話が参考になった」との感想も



「きたほなみ」について講義



農産技術課職員が講師となり試乗を実施



完全個室で、女性専用部屋もあります

● 水稲栽培省力化のための水管理装置を実証中 《営農支援推進課》

水稲栽培における水管理作業の省力化を図るために、水管理装置「農匠自動水門」を活用した実証を行っています。この製品は、圃場に行かなくても水位を設定すれば自動で給水と止水をできることが特長で、オープン水路にも対応。来年の市販化を目指しています。

現在実証中の JA 東神楽では、トラブルはなく運行しており、省力化の手段として期待が持てる結果が得られそうです。



● メキャベツを栽培してみませんか 《長沼研究農場 園芸作物開発課》

メキャベツは煮込み料理や弁当総菜として利用される高級食材で、欧米ではキャベツに並ぶ主要な野菜です。道内の露地栽培では7月定植の場合、11月から収穫可能であり、高単価の新規作物として期待されています。

長沼研究農場ではメキャベツの収量性などを調査しており、詳しくはアグリレポート 20号で紹介しています。また、9月6日に実施する「ホクレンフィールドデー2019」でも展示予定ですので、ご興味がある方はぜひお越しください。



●空知管内 JA 営農担当者研修会を開催 《岩見沢支所 営農支援室》

岩見沢支所では、昨年度より管内 JA 営農担当者に向けた情報発信と、多様化する生産者ニーズの共有化を目的として JA 営農担当者研修会を企画しています。今年度は第 1 回目の研修会を 7 月 9 日に行いました。

今回のテーマは、情報提供として①土壌の排水性改善に対応した取り組みについて②地域農業の担い手に出向く TAC 活動及び関連システムについてでした。

8JA から 14 名が参加し、研修終了後のアンケートにおいても高い評価をいただきました。



開会挨拶をする岩見沢支所営農支援室佐藤室長

研修会に出席した JA の職員等

●トマト栽培の環境モニタリング現地調査を実施 《苫小牧支所 営農支援室》

ホクレン苫小牧支所では、ハウス内の環境を遠隔地から把握できるモニタリングシステム「みどりクラウド」で得られた環境データを栽培管理の効率化に活用することを目指して試験に取り組んでいます。

7 月 10 日に北海道農政部技術普及課の主催により、日高西部と東胆振において現地調査が実施されました。地区を担当する普及センターの案内で、ホクレン苫小牧支所営農支援室が「みどりクラウド」を設置した 2 カ所の圃場を巡回し生育状況などを確認しました。営農支援センターからは営農技術課が、苫小牧支所からは生産資材課も参加し総勢 11 名にて巡

回しました。

生育は概ね順調に経過しているものの、生育後半を迎える上での樹勢管理などについての課題が見えてきました。



●アグリポート 20号を発刊 《営農支援推進課》

8月1日にアグリポート20号を発刊しました。特集は「夏作業のリスク」です。

暑い季節の農作業は、熱中症や夏バテ、日焼けなどの多くのリスクがあります。リスクを最小限に抑え、元気に働くためにはなにに注意すればいいのでしょうか。厚生病院の医師や、北海道コンサドーレ札幌のコーチなど、いろいろな分野の方に夏を乗り切るためのアドバイスをいただきました。

そのほか、A コープへの出荷実績に基づくアイスクリームの人気ランキングも掲載。

一番人気はどの商品でしょうか？



● 「ホクレンフィールドデー2019」を9月6日に開催します 《研究企画課》

「ホクレンフィールドデー2019」は、野菜や花きの新品種や注目品種などを展示する「野菜類・花き品種展示会」、ドローンなどの新技術や省力化資材に関する「農業新技術展示・実演会」、農総研の研究成果を紹介する「研究成果パネル展示会」の、三つの展示会を組み合わせた複合イベントです。昨年は震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となります。

新品種や最新の技術を「見て」「触れて」「実感」できるホクレンフィールドデー2019にぜひご来場ください。

【日時】 2019年9月6日（金）10～16時（最終受付は15時30分）

【会場】 ホクレン長沼研究農場（長沼町東9線南2番地 tel.0123-88-3330）

【申込先】 tel.011-742-5433（研究企画課 担当：田中）



野菜類・花き品種展示会



農業新技術展示・実演会



研究成果パネル展示会

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp